

今号の主な記事	
2面	STOP！コロナ差別、環境調査結果、骨髄ドナーなどへの助成金交付、行政相談週間
3面	区政功労者表彰ほか
4面	中目黒駅周辺の自転車等放置禁止区域の変更、情報ボックスほか

No.2080

令和2年
(2020年) 10/5
毎月5・15・25日発行



めぐろ区報



みんなで減らそう！ 食品ロス

10月は食品ロス削減月間

食品ロスとは、食べ残しや売れ残りなどの理由で、食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

図清掃リサイクル課計画普及係（☎5722-9883、FAX5722-9573）

買い方でも食品ロスを削減できます

10月は食品ロス削減月間

すぐに食べる食品であれば、消費・賞味期限が近いものを選ぶことも、食品ロス削減につながります。

**知っていますか？
消費期限と賞味期限の違い**

消費期限は安全に食べられる期限です。期限前に食べきりましょう。

賞味期限はおいしく食べられる期限なので、期限後でもおいや味などに異常がなければ食べることができます。

撮影協力：イオンスタイル碑文谷

**新しい生活様式の中で
ごみを減らす工夫が
大切です**

食品ロスの約半分は、家庭から発生しています。在宅時間が増えたことで、家庭ごみはさらに増加しています。買い物の仕方や食材を使い切る工夫など、日常生活での私たち一人ひとりの行動がごみ削減につながります。

4～7月の可燃ごみ収集量（23区）

年度	収集量（万ト）
平成30年度	57
令和元年度	57
2年度（暫定値）	61

東京二十三区清掃一部事務組合資料等より作成

ごみ減量キャラクター「ゴミラス」のステッカーが目印！

**食品ロスを減らすために取り組んでいます
めぐろ食べきり協力店**

めぐろ食べきり協力店は、バラ売りや少量サイズで販売する小売店、残さず食べるために小盛りを提供する飲食店など、食品ロス削減のための取り組みを推進するお店です。詳細はホームページ（右コード）をご覧ください。お問い合わせください。

めぐろ食べきり協力店のイオンスタイル碑文谷（碑文谷4-1-1）では仕入れ数量・陳列の工夫や予約販売などのほか、賞味期限が近いものを値下げして提供するなど、廃棄食品を出さない取り組みを行っています。

食品ロス削減月間ポスターを協力店に掲示します！

？ 次の数字、何だか分かりますか

612万ト 日本で1年間に廃棄された食品の量です（平成29年度推計）。世界で飢餓に苦しむ人に向けた食料援助の量の1.5倍に相当します

37% 日本の食料自給率で、先進国で最低水準です。食料を輸入に頼りながら廃棄しています

8億人 世界で飢えや栄養不足で苦しんでいる人の数です。世界で廃棄された食料で十分救うことができます

250km³ 世界で1年間に消費されなかった食料を作るために使われた水の量で、琵琶湖の水の約9倍に当たります。例えば、ご飯1杯分に278Lの水が必要です

36億ト 消費されなかった食料のために世界で排出された温室効果ガスの量です

食品ロスは貧困、環境など地球規模でさまざまな問題を引き起こしています

参考：啓発冊子「東京食品ロス0（ゼロ）アクション」

フードドライブにご協力ください

フードドライブは、家庭に眠っている食品を持ち寄り、福祉団体などに役立ててもらう活動です。

日時 10/23(金)・24(土) 9:00～15:00
会場 目黒区エコプラザ（目黒1-25-26 田道ふれあい館内）
対象食品 賞味期限が3年1月以降で常温保存が可能で未開封の食品（缶詰、調味料、乾物、インスタント食品、米など）
※包装が破損しているものや生鮮食料品は不可

目黒エコライフめぐろ推進協会
(☎3715-7835、FAX3715-8826)

秋の味覚が楽しみな季節となりました。目黒の秋の風物詩、目黒区民まつりは昭和52年に始まりました。平成12年からは目黒のさんま祭りが加わって、区内でも有数のお祭りとなりました。毎年、新鮮なサンマを届けてくださる宮城県仙沼市とは友好都市協定を締結して、今年で10周年を迎えます。残念ながら、今年はコロナ禍によって、区民まつりは中止となりましたが、東日本大震災で甚大な被害を受けた年でさえ、新鮮なサンマを届けてくださった仙沼の皆さんの心意気を忘れることはできません。▼10月は、都市緑化月間です。区民の皆さんに、住区センターや総合庁舎で、アジサイなどの苗木をお配りします（9/25号参照）。この苗木は、友好都市の宮城県角田市で育てていたものです。角田市は、昨年の台風19号で1500世帯を超える住宅に被害が生じました。今も復興の途にある状況ですが、角田市で栽培された苗木は、今年も変わらず目黒にみどりを届けてくださいます。▼いまだに収束が見えないコロナ禍によってイベントという形の交流は難しい状況ですが、こうした友好都市とのきずなを大切にしながら、今後も交流を継続していきたいと考えています。

目黒区長
あおき えいじ
青木 英二